

自転車を安全にお乗りいただくために

道路交通法や、ブレーキ・車輪等の操作・点検方法についてお知らせします。

下記の注意事項をご確認の上、安全にご使用ください。

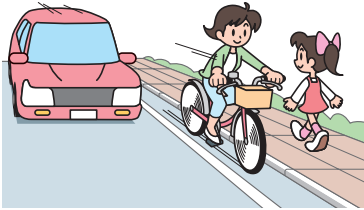
なお、詳しくは弊社ホームページに掲載していますのでご覧ください。

URL <http://www.bscycle.co.jp/support/safety/index.html>

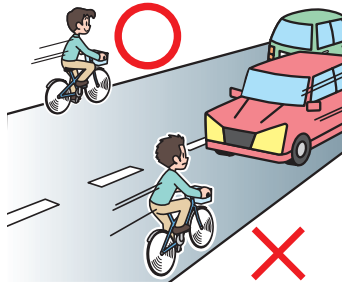
1 道路交通法で決められている正しい(乗り方の)ルール

自転車は車道通行が原則です。

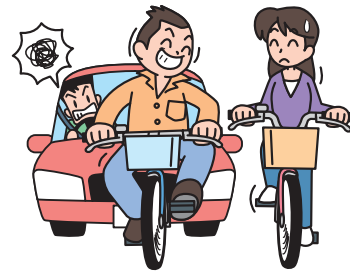
歩道通行は例外で、歩道通行する場合は、歩行者優先で自転車は車道寄りを行くことが求められます。



車道の右側通行は禁止されています。



自転車の並進は禁止されています。



自転車の二人乗りは禁止されています。

※チャイルドシートを装着した場合、6歳未満のお子様は同乗可能です。



携帯電話を使用しながら走行することは禁止されています。

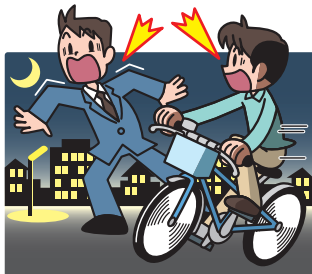
また、イヤホンやヘッドホンを聞きながら走行することも禁止されています。



傘差し運転は禁止されています。



夜間や暗い場所での無灯火運転は禁止されています。



日常点検や定期点検を行ってください。

故障したままの整備不良車の運転は禁止されています。



裏面へつづく

2 ブレーキの正しい使い方と点検方法

ブレーキをかけるときは、必ず前後ブレーキを併用し、後ブレーキを先にかけてから前ブレーキをかけてください。



雨天時は制動距離が長くなります。前後ブレーキを併用しゆっくり走行してください。

雨などでブレーキが濡れた場合は、乾燥させた後ご利用ください。

雨が上がってもブレーキが濡れているとブレーキのききが悪くなります。特に、大雨に当たった場合やブレーキが水に浸かった場合は、必ずブレーキのききを確認し、異常があれば使用を中止してください。

坂道では、前後ブレーキを併用し安全な速度で走行してください。

特に長い下り坂前後どちらかのブレーキだけを使って走行すると、制動部が非常に熱くなり、ブレーキのききが大幅に低下し危険です。

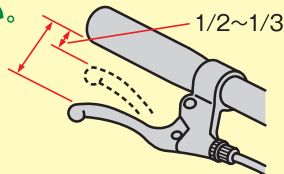
雨天時の坂道走行では、タイヤがスリップしたりブレーキのききが悪くなり、転倒や衝突事故を起こす危険性が高まります。

前後ブレーキを併用し速度を落として走行してください。特に雨、風、雪がひどいときや視界が悪いときは、自転車から降りて押して歩いてください。



日常点検

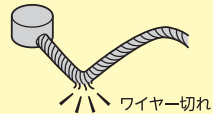
ブレーキレバーを握って、隙間が1/2~1/3になるまでにブレーキが確実にきくことを確認してください。



ブレーキワイヤーが伸びたり、サビたり、切れている場合や、ブレーキレバー、ブレーキ取付金具が緩んでいるとブレーキのききに影響します。



音鳴りがしたり、ブレーキのききすぎも転倒や衝突によりケガをするおそれがあります。



ブレーキワイヤーは消耗品です。異常がなくても2年に1度は交換してください。

3 車輪まわりの注意事項と点検方法

巻き込みやすい物を近くに置いたり差ししたりしないでください。

長いスカートで運転したり、傘やステッキ、釣竿等を車体に差し込んで走行しないでください。また、ハンドルに買い物袋などを提げたまま走行しないでください。



滑りやすい靴やかかとの高い靴、厚底靴を履いてご乗車しないでください。



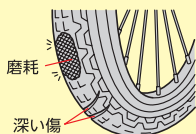
日常点検

前・後輪の固定は十分を確認してください。

自転車を持ち上げて車輪を上から強くたたきガタ、ズレの無いこと、自転車を持ち上げて車輪を回してみ、スムーズに回転することを確認してください。



タイヤにキズや摩耗が無いが、空気圧は十分か確認してください。



スポークやニップルの切れ、外れ、変形を確認し、みつかった場合は早急に交換してください。

ホイールが変形し、ブレーキと接触して走行性が損なわれ、転倒するおそれがあります。スポークが一本でも外れたまま走行を続けると、他のスポークに大きな負担が繰り返し加わり、スポーク寿命が低下し、スポーク切れが継続して発生する場合があります。スポークは全て交換することをお勧めします。

